

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ライフステージに対応した学習充実事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	06	05	03
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習講座に参加を希望する児童期、高年期等の市民	意図	児童期、高年期など各世代に応じた学習機会を提供。
事業内容	児童を対象とした「夏休み子ども体験教室」や、60歳以上の方を対象とした「ゆうゆう大学」など各世代に応じた講座等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	60歳以上の方を対象とした「ゆうゆう大学」は、全6学園で第9期1年目のスタートとなった。教養科目および選択科目をそれぞれ年12回実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	155	156	198	回	→→	ゆうゆう大学、親子体験講座など
②	講座受講者数	11850	10196	11638	人	→→	ゆうゆう大学、親子体験講座など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果		ゆうゆう大学の講座は、学生から高い満足感を得ている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・ゆうゆう大学は第9期1年目となり、教養科目（6学園）、選択科目（6科目8コース）それぞれ年間12回実施し、オリエンテーションや合同講演など多様な学びの場として、また仲間づくりの場として充実した学園生活を提供できた。 ・体験講座では、市内の史跡を通して、流山の特色や歴史を再発見、再認識できる「史跡ガイドウォーキング」や、夏休みに子供たちが楽しみながら学べる講座を実施した。 ・キッズサイエンスデーでは、サイエンス体験や大気環境を考える機会を多くの親子に提供することができた。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		19,821,202	17,991,619	13,394,459				
事業費(b)(円)		8,750,402	8,830,019	9,129,259				
うち一般財源		8,750,402	8,830,019	9,129,259				
職員給与費(c)(円)		11,070,800	9,161,600	4,265,200				
人役・職員(人)		0.80	0.60	0.60				
人役・再任用(人)		0.20	0.20	0.10				
人役・臨職(人)		4.00	4.00	4.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ゆうゆう大学第9期の新たな学生を迎える。更なる学びの充実を図り、学園祭実施に向け学生をサポートする。また、各ライフステージのニーズを探り、多様な講座実施に努める。	③取組の課題	各年代のニーズに対応した多様な講座を企画する。
②今年度(H29)に実施した取組	ゆうゆう大学は、学びの充実および仲間づくりに取り組み、カリキュラム作成に第8期生の要望を取り入れた。さらに、子ども体験教室、史跡ガイドウォーキング、キッズサイエンスデー等を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	ゆうゆう大学第9期2年次のカリキュラムは、第9期生の要望を取り入れる。また、親子向けの講座を実施していく。